







しかし家族が増える中でまたマンガでの収入を求めるようになるのですが…

そして今は別府で暮らして



絵本の最後は

四人の患者を島に残してロビンソンはなつかしいイギリスに帰る…となっています



「ロビンソン漂流記」の絵本は実はまだ仕事机の横の本棚にあり…



やっぱり年齢的なものかな…

窓から湯けむりを眺めながら思っていた



う〜ん…

どうしてロビンソンは豊かな無人島を悪者達に譲ってイギリスに帰ったんだろう？



バナナもオレنجもたくさん実るし麦だつて作れるようになったのに



柵はエンピツみたいにとがらせるんだあ



内気で人とのつきあいが苦手だった僕は一人で頑張るロビンソン・クルーソーに好感を持ち…



おバナナがいっぱい



丸木舟かあ

無人島での一人暮らしに憧れるのでした



毛皮の服は暑そうだなあ



暮らしも仕事も自分で工夫した楽しい時期でした



30歳から7年間ほど長野県の入笠山に「入笠民芸」クラフト製作で生計を立てようとした頃のことです

僕の人生にも漂流記《的》な時代がありました